



## ◆事業再構築補助金の第 13 回公募に採択されました。

五稜化薬株式会社(本社:札幌市、代表取締役:丸山健一、以下「当社」)は、事業再構築補助金の第 13 回公募に採択された事をお知らせいたします。

第 13 回公募では 3,100 件の応募があり、審査の結果 1,101 件が採択されました。

採択結果(北海道ブロック)

[https://jigyousaikouchiku.go.jp/pdf/result/tokubetsu\\_hokkaido13.pdf](https://jigyousaikouchiku.go.jp/pdf/result/tokubetsu_hokkaido13.pdf)

### ■事業再構築補助金とは

本事業は、ポストコロナの時代の経済社会の変化に対応するために、新市場進出(新分野展開、業態転換)、事業・業種転換、事業再編、国内回帰、地域サプライチェーン維持・強靱化又はこれらの取組を通じた規模の拡大等、思い切った事業再構築に意欲を有する、中小企業等の挑戦を支援するものです。なお、当社は、ナビゲーションドラッグ事業の継続に加えて、本補助金事業を通じた新分野展開にも挑戦して参ります。

## 1. 採択案件の概要

(事業者名)

五稜化薬株式会社

(事業計画名)

蛍光簡易検出機器を含む酵素測定キットとその消耗品薬物の開発製造販売

## 2. 【参考】五稜化薬について

当社は、蛍光プローブをヒト組織片に噴霧すると、数分でがん組織のみを選択的に光らせる

世界初の新製品を開発・製造し、がんの外科的手術の際に活用するナビゲーションドラッグ事業（体外及び体内診断薬）を進めております。ナビゲーションドラッグ事業は、「Fluorescent Image-Guided Surgery（蛍光イメージング（注1）を活用した外科手術支援（当社訳）」とも言われ、これからますます注目される分野です。

開発が先行している対象は、乳がん及び食道がんなどががん領域が主体で今後、多様ながんの手術時や健診時などで活用され、がんの早期発見・早期治療、再発予防、術後の早期回復に資する製品の開発・製造に注力する計画ですが、プラットフォーム技術である弊社技術の基本特性を生かし、これ応用することにより創生した蛍光プローブを、がん以外の組織に適用し、当該組織部分を光らせることが可能です。例えば、令和5年4月5日付にてプレスリリースした千寿製薬株式会社とのグローバル開発の正式契約締結の対象であるカルパインプローブは、がん以外の症例分野に開発を拡大していく具体的な可能性を示すものです。また、当社は、蛍光プローブ技術にて蓄積した知見やノウハウを転用して創出した新規治療薬候補品の開発も進めており、診断薬に留まらず治療薬も含めた多方面からの技術の社会実装を進めて参ります。

（注1）蛍光イメージング：さまざまな蛍光色素や蛍光タンパク質にレーザーなどの光を当てること、細胞や特定のタンパク質などの局在や動きを観察できるようにした手法。

**<お問合せ>**

**五稜化薬株式会社**

**E-Mail :[info@goryochemical.com](mailto:info@goryochemical.com)**